

◆講義①〔図書館行政の動向〕への質問◆

**質問 1** 「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の説明で、不読率の現状に触れられ、目標を達していないとお話がありましたが、第五次計画での不読率の低減については、R4年度までの数値目標を継続させる形でしょうか。第5次計画において、不読率の低減は基本的方針の1にも掲げられていますが、数値目標はなかったように思います。別の目標や考え方がありましたらご教示ください。

**回答** 御質問ありがとうございます。

第五次計画において基本的な方針の一つとして不読率の低減を掲げ、取組の重要性等について下記のとおり示しております。御質問いただいたような別の目標は示しておりませんが、第四次計画の数値目標等も踏まえ、引き続き不読率の低減に向けて読書活動の取組の推進を図ることが重要と考えております。

(参考1) 第五次 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画 (令和5年3月)

I 不読率の低減

(略)

子どもの不読率は、第四次基本計画の数値目標を達成していない。不読率の改善に向け、学校図書館に関するオリエンテーション等の学校種間の移行段階に着目した取組、読書に興味のない子どもも親しみやすい講座、体験活動等と連動した取組等の充実に努めること、また、小学校1年生の不読率に就学前の読み聞かせの実施が影響を与えているとの指摘もあり、乳幼児期からの読み聞かせを推進することが重要である。

高校生の不読率は、小学生、中学生に比して、高い状況が続いている。他方、一貫した上昇傾向にあるわけではない。こうした状況を踏まえ、第四次基本計画の基本的な方針を維持し、乳幼児期から中学生までの読書習慣の形成を促すとともに、大人への過渡期にある高校生が読書の必要性を真に感じ、主体的に読書に興味・関心を持てるような取組の推進を図る必要がある。

(参考2) 教育振興基本計画 (令和5年6月)

○読書活動の充実

・子供の読書活動の推進に関する基本計画等に基づき、不読率の低減に向け、公立図書館と学校の連携をはじめとした各機関の連携とともに、司書教諭の養成や学校司書の配置など学校図書館の整備充実、多様な子供の読書機会の確保、子供の読書活動の重要性などに関する普及啓発等を通じ、子供の読書活動を推進する。また、電子書籍の活用や、デジタル社会に対応した読書環境の整備を促す。

【指標】

・子供の不読率（1か月に1冊も本を読まなかった子供の割合）の減少